

上の原地区

土地

夢と希望のまちづくり



落合川いこいの水辺にて

補正予算案を可決

平成26年第2回定例会は6月5日から24日までの会期で開催され、市長提出議案10件、議員提出議案11件（意見書案10件・決議案1件）、請願23件を審議しました。議案等の審議結果は4面をご覧ください。

平成26年度一般会計補正予算案（第1号）は、予算特別委員会を設置し、村山順次郎委員長（日本共産党）、近藤誠二副委員長（市議会民主党）の下で慎重に審査され、6月24日の本会議において賛成多数で可決されました。

本補正予算では、スポーツセンターへのネーミング・ライツ（施設命名権）導入による歳入が計上され、歳出としては、上の原地区土地利用構想案（下図参照）に示された新たなアクセス道路の測量委託費、下里資源選別所跡地における埋設物撤去工事費と売却に向けた測量・不動産鑑定委託費、東久留米団地内に開設されるグループホームへの補助金、水ぼうそう・成人用肺炎球菌予防接種費用等が計上されました。

また、第二小学校の給食調理業務委託事業に係る債務負担行為を行い、社会資本整備総合交付金の交付に伴う防災行政無線デジタル通信設備工事の財源更正を行っています。

これらにより、一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ6899万9千円を増額し、歳入歳出それぞれ385億6499万9千円となりました。

予算特別委員会では、上の原地区土地利用構想案と新たなアクセス道路の必要性について、防災行政無線の活用についてなど、歳出を中心とした質疑が行われました。

【委員会での質疑から】

【質問】新たなアクセス道路について、バス通り（上の原通り）以外にもう一本道路が必要である理由は、

【答弁】企業等誘導により、5ヘクタールから6ヘクタール規模の土地に、生活サービス施設、健康増進施設、事業所などが立地することを前提とすると、現在の上の原通りだけでは交通処理が難しい。

また、土地利用構想案を踏まえると、生活サービス施設ゾーンや複合施設ゾーンなどの一定の範囲の用途地域の緩和が必要となり、変更される用途地域に対応した道路等の交通基盤についても計画を立てる必要があります。幹線道路等を結ぶ新たなアクセス道路整備が必要不可欠である。

【質問】上の原地区の現状の道路付けで可能な物販面積はどの程度か。また、アクセス道路をつくることにより、どの程度拡充する見込みなのか。

【答弁】現在可能な来店車両台数は2800台程度が限度であり、大規模小売店舗立地法による物販面積で換

算すると、約8400平方メートルに相当である。アクセス道路が整備された場合は約5200台と推計され、約1万9000平方メートルに拡充できる見込みである。

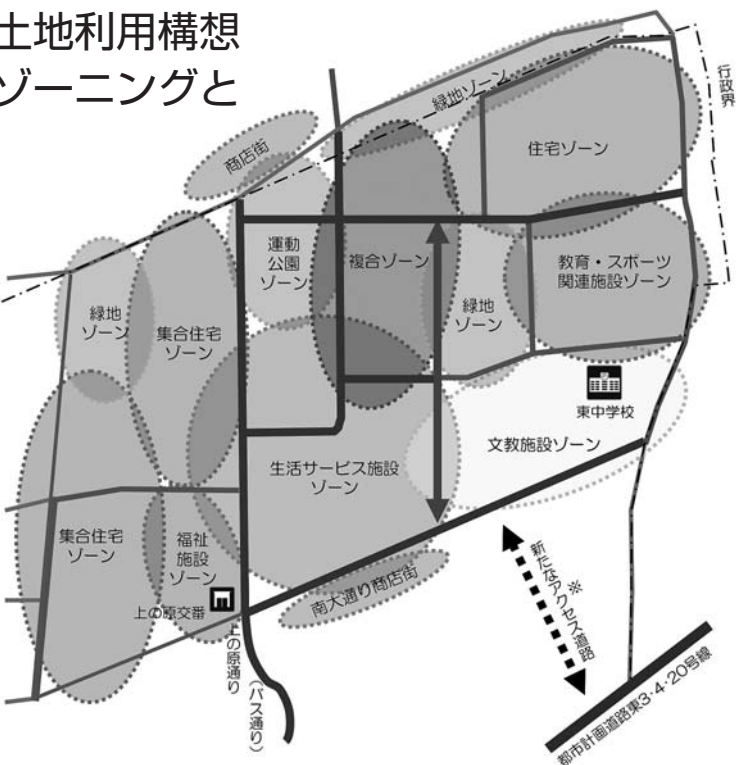
【質問】生涯学習センター等の施設をネーミング・ライツ導入の対象とする考えは、

【答弁】指定管理者の更新を控えており、所管課と調整している段階である。

【質問】防災行政無線で認知症徘徊者の捜索放送を流すことはできないか。

【副市長】人命に関わる切迫した事態は高齢化の中で増大していくものと考えられ、防災行政無線は有効な手段であると考える。必要だという観点に立つて、許可の問題、電波法との問題点などを改めて精査する。

上の原地区土地利用構想に示されたゾーニングと道路計画



市では6月議会以降構想（案）から構想として改めて決定しました。
※ここに示す新たなアクセス道路は、あくまでもイメージであり位置を特定したものではありません。

今号の内容案内

一般質問	2	3
行政報告・決議	4	面
議案・請願の審議結果・意見書など	4	面
次の市議会の日程（予定）	4	面

何が話し合われたの？

平成26年度東久留米市一般会計補正予算（第1号）には、水ぼうそうと成人用肺炎球菌の予防ワクチンの定期接種の予算が計上されました。これまで、水ぼうそうと成人用肺炎球菌予防ワクチンの注射は任意接種でしたが、平成26年10月より定期接種となります。

また、先天性風しん症候群対策として4月より新たに加わった、風しん抗体検査の財源更正も行われました。



東久留米市
地域資源
マスコット
キャラクター
湧水の妖精
るるめちゃん